

JART 特別企画

変化に そなえる

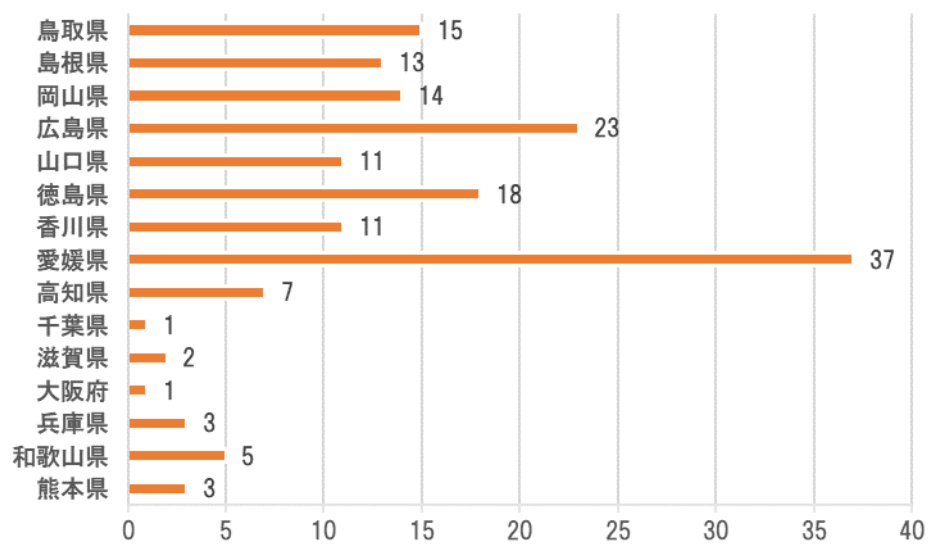
～タスクシフトに向けて～

アンケート結果報告

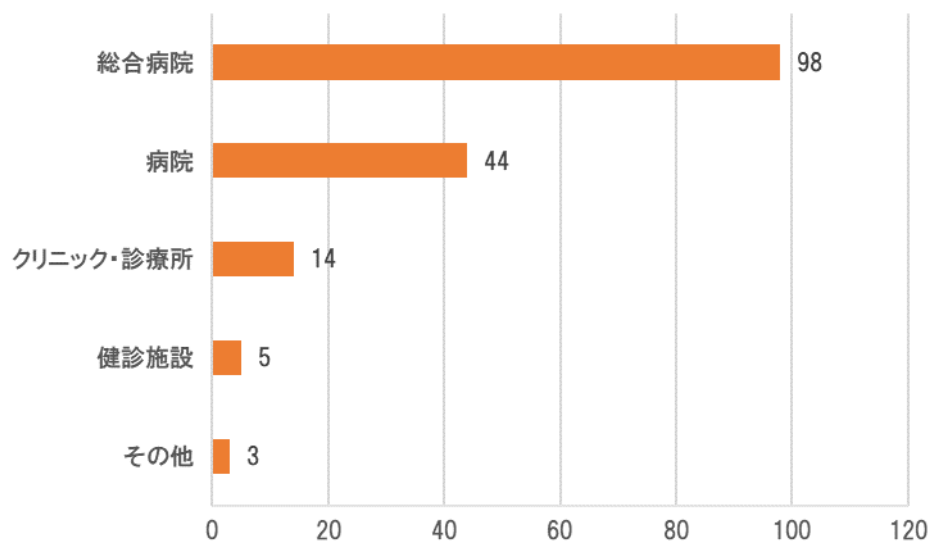
中四国診療放射線技師業務改善推進委員会

令和4年10月16日

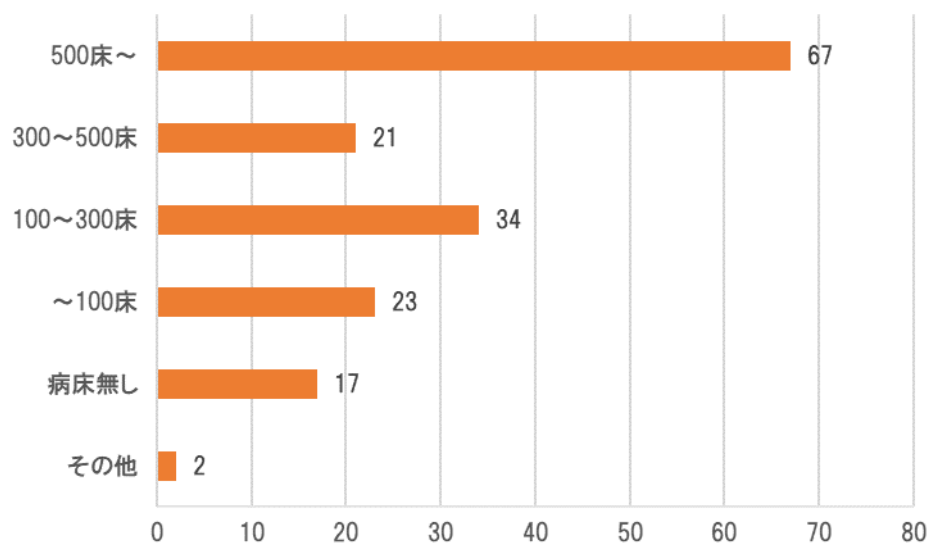
質問 1 所属県を教えてください



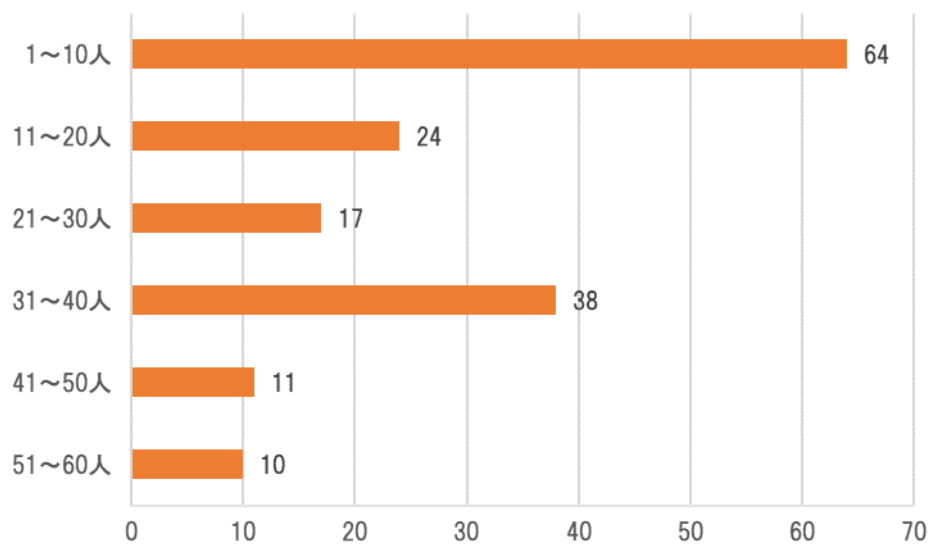
質問 2 所属施設の種類を教えてください



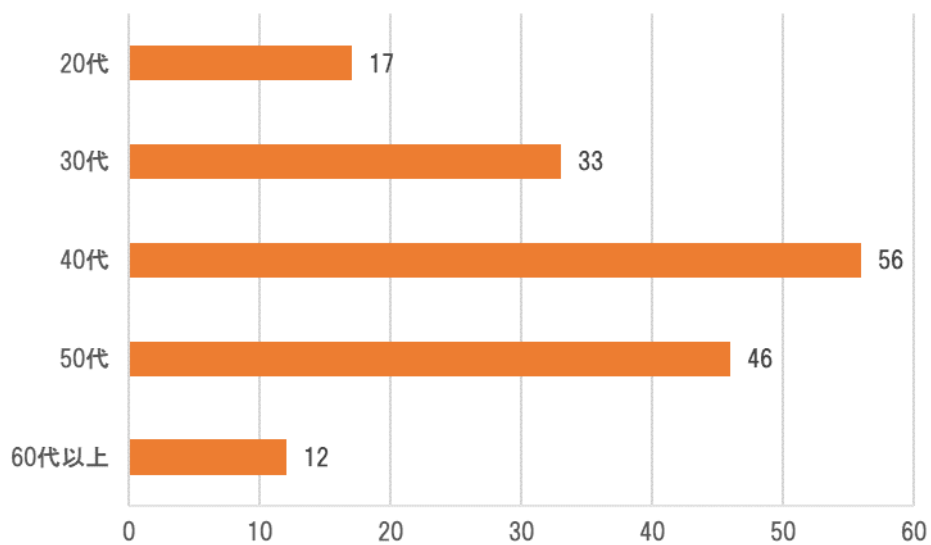
質問 3 病院の病床数を教えてください



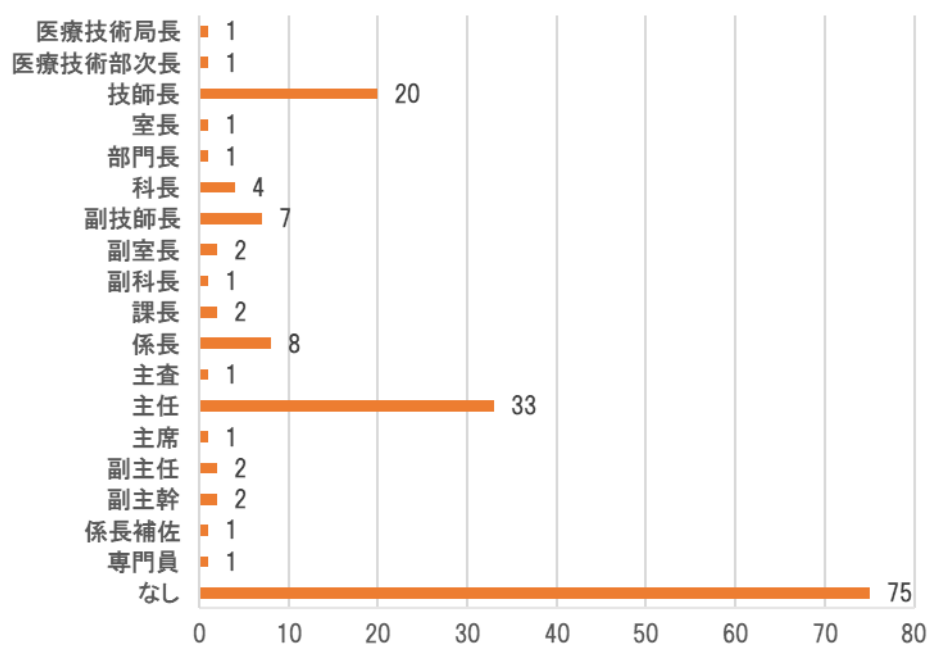
質問 4 在籍している診療放射線技師の人数を教えてください



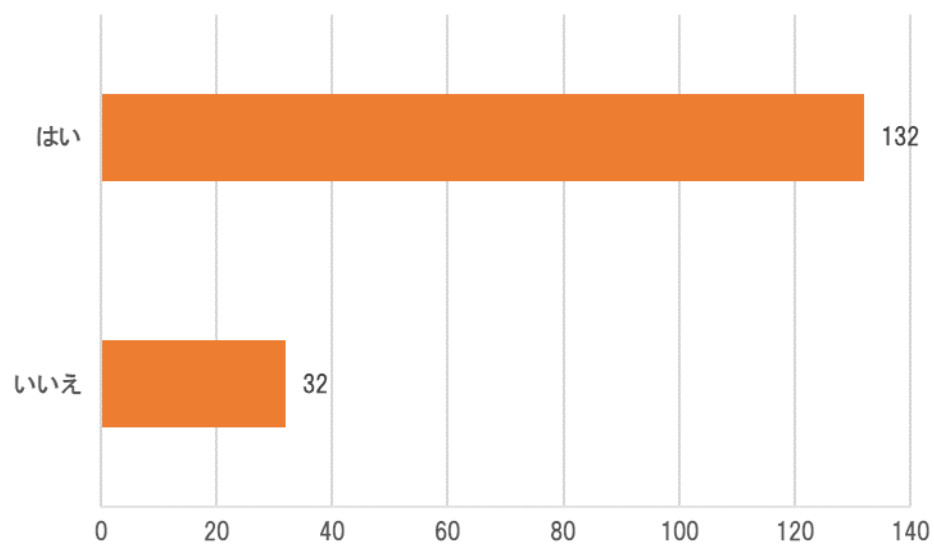
質問 5 年齢を教えてください



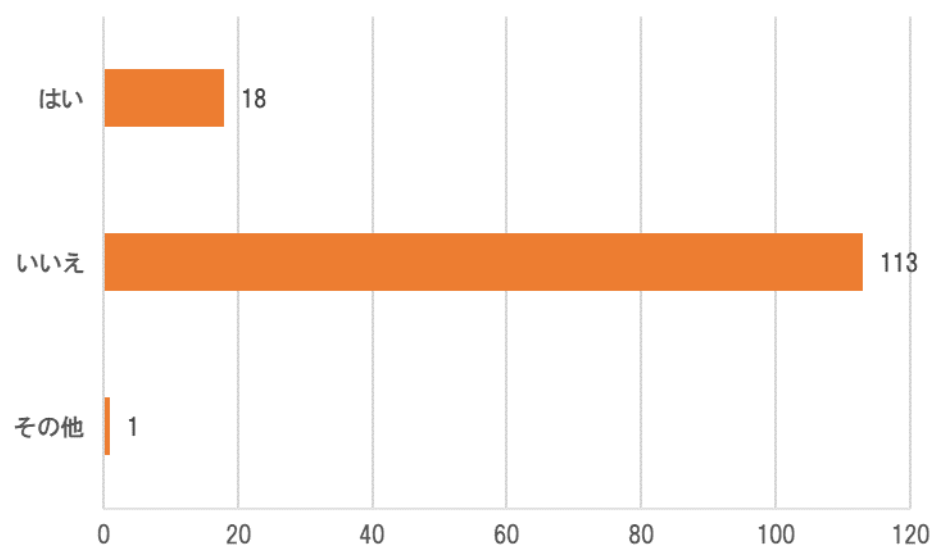
質問 6 役職を教えてください



質問 7 平成 26 年の診療放射線技師法の一部改正と業務拡大に伴う統一講習会を受講しましたか



質問 8 講習を受講する前と受講した後で業務内容に変化はありましたか



【その他】

- ・ 受講中

質問 9 変化した内容を教えてください

※質問 8 で「はい」と答えた方

- ・ 抜針をするようになった (12)
- ・ 造影検査時のインジェクター操作 (2)
- ・ より安全に業務を遂行するようになった
- ・ 救急対応に自信がついた

質問 10 業務内容が変化したことによかったことを教えてください

※質問 8 で「はい」と答えた方

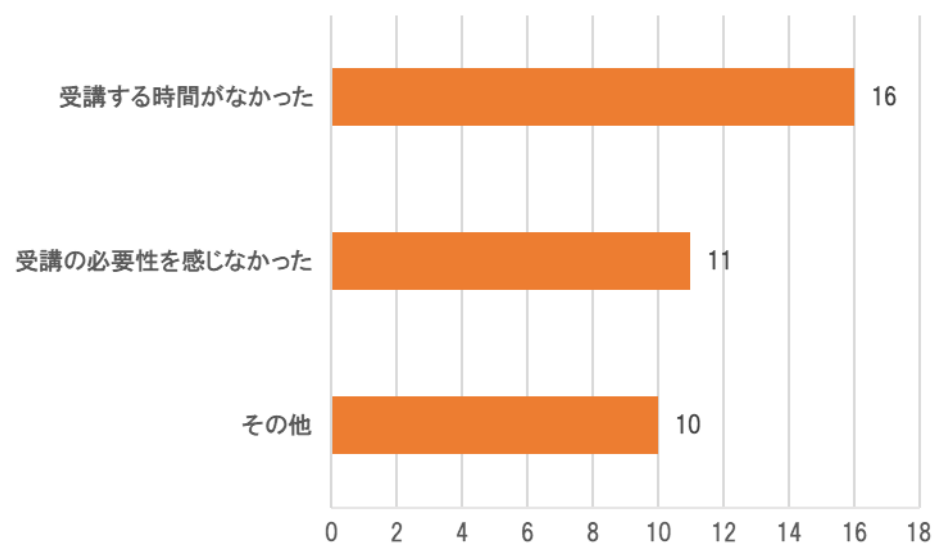
- ・ 業務の効率化が図れ、検査のスループットが向上した (9)
- ・ 安全に対する意識が高まった
- ・ 明確にできる事が理解できた (2)

質問 11 業務内容が変化したことで困ったことを教えてください

※質問 8 で「はい」と答えた方

- ・ 業務が拡大したこと
- ・ 技師の業務が増え人員不足になること
- ・ 技師人員はモダリティに対して少なく忙しいが、人力的余裕のある看護師にいいように使われる
- ・ 講習を受講していない技師は静脈抜針させていないため業務配置に工夫が必要
- ・ できる人と受けていなくて出来ない技師の溝ができた
- ・ 今のところインジェクター操作以外の業務変化は無い

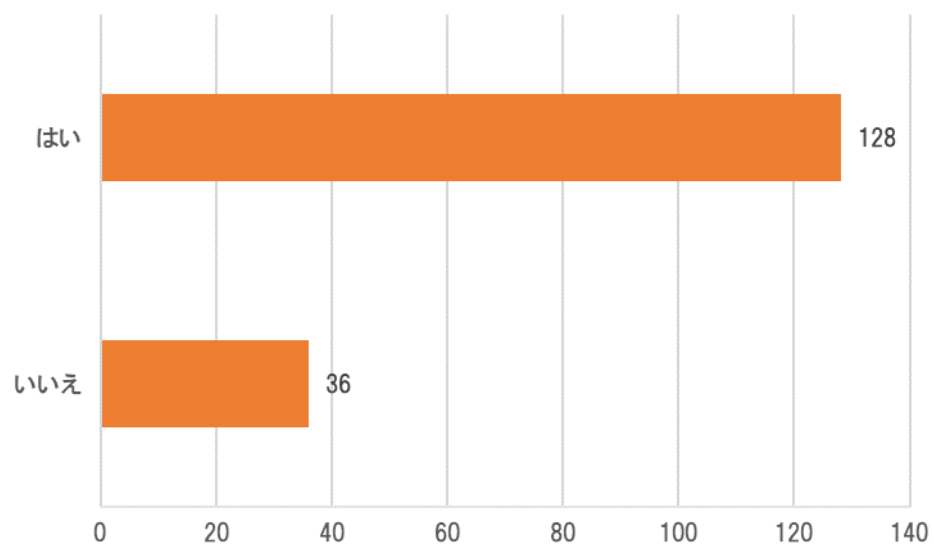
質問 12 受講しなかった理由を教えてください



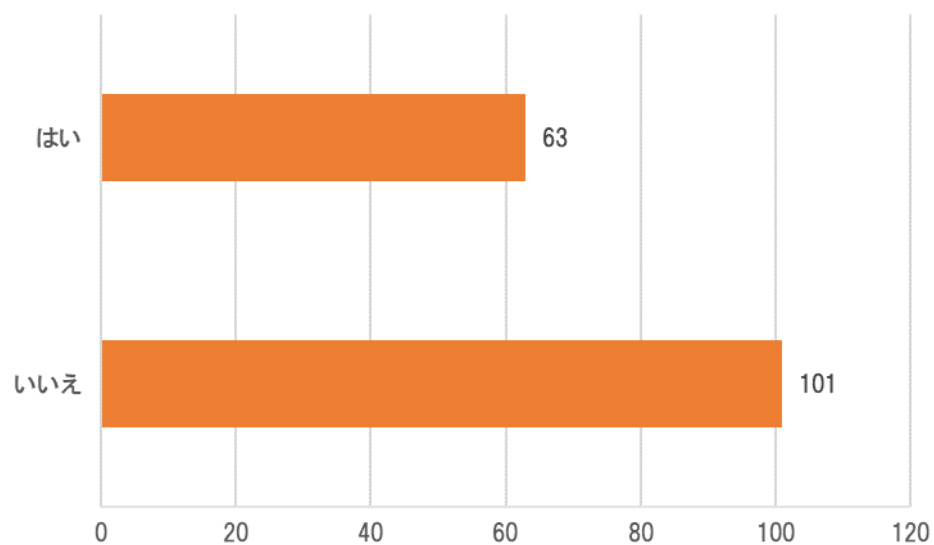
【その他】

- 就職していなかった
- 学生でした
- 大学卒業時点でカリキュラムに含まれていたから (2)
- 受講を努力義務としておきながら、費用を受講者に負担させることに疑問があるので

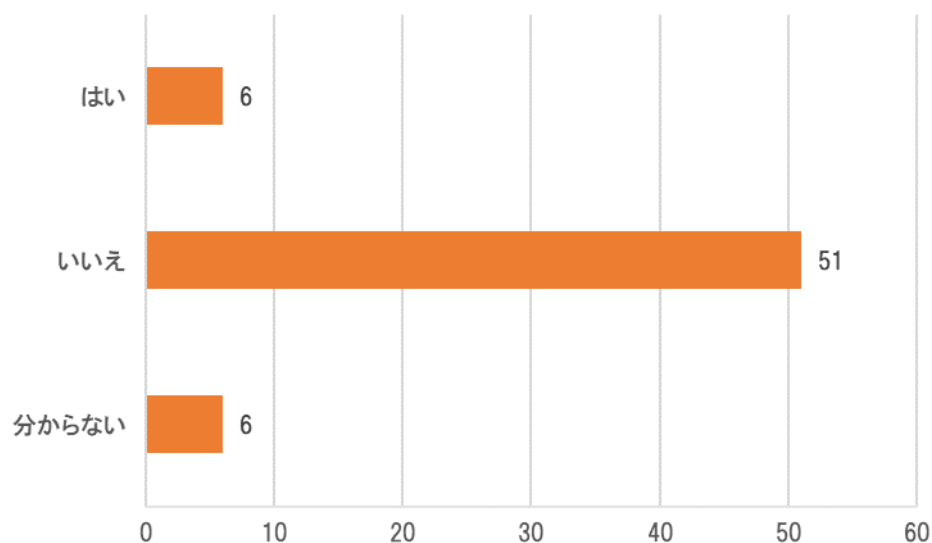
質問 13 令和 3 年から始まった診療放射線技師法改正に伴う告示研修(基礎研修)を受講しましたか



質問 14 告示研修(実技研修)を受講しましたか



質問 15 研修を受講する前と受講した後で業務内容に変化はありましたか、または変更予定はありますか



質問 16 変化した(または変更予定の)内容を教えてください

※質問 15 で「はい」と答えた方

- ・ CTCにおける手技を技師が行うようになった(または検討中) (2)
- ・ 造影検査時のルート確保を技師で行うようになった(または検討中) (3)
- ・ 血管造影時のインジェクターの操作
- ・ 血管造影時の動脈路への接続
- ・ 核医学部門では、静脈確保、投与、抜針の業務を行うようになった。

質問 17 業務内容が変化したことによかったことを教えてください

※質問 15 で「はい」と答えた方

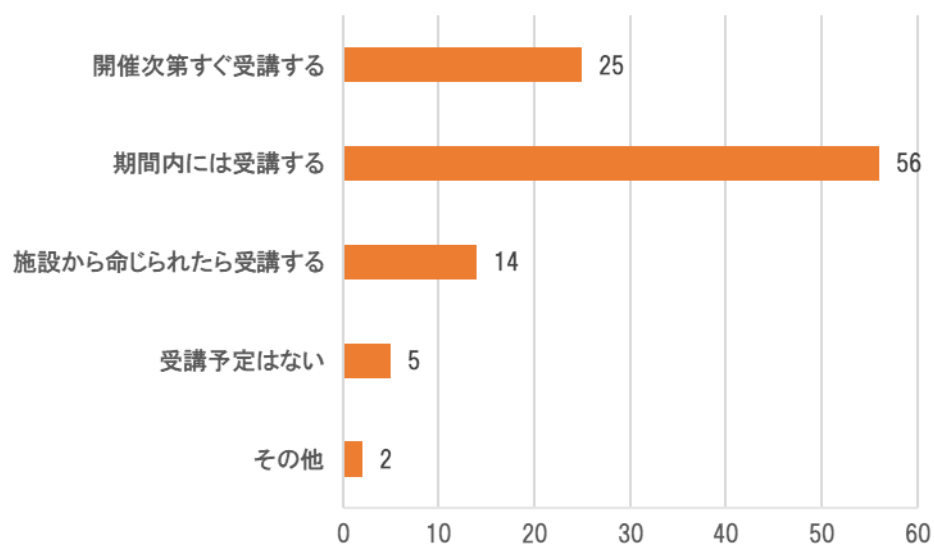
- ・ タスクシェアの推進とワークエンゲイジメントの向上
- ・ 医師の負担軽減
- ・ 造影剤のベストタイミングが読みやすくなった
- ・ 静脈路確保が加わったことで、感染対策にも、医療安全対策にも、より一層気をつけるようになった

質問 18 業務内容が変化したことで困ったことを教えてください

※質問 15 で「はい」と答えた方

- ・ 静脈注射の技能の習得が難しい
- ・ 業務量が増加したこと
- ・ ローテーション時の人材育成
- ・ 看護師が職場から減った
- ・ マニュアル、研修カリキュラムの作成が必要になること

質問 19 今後受講する予定はありますか

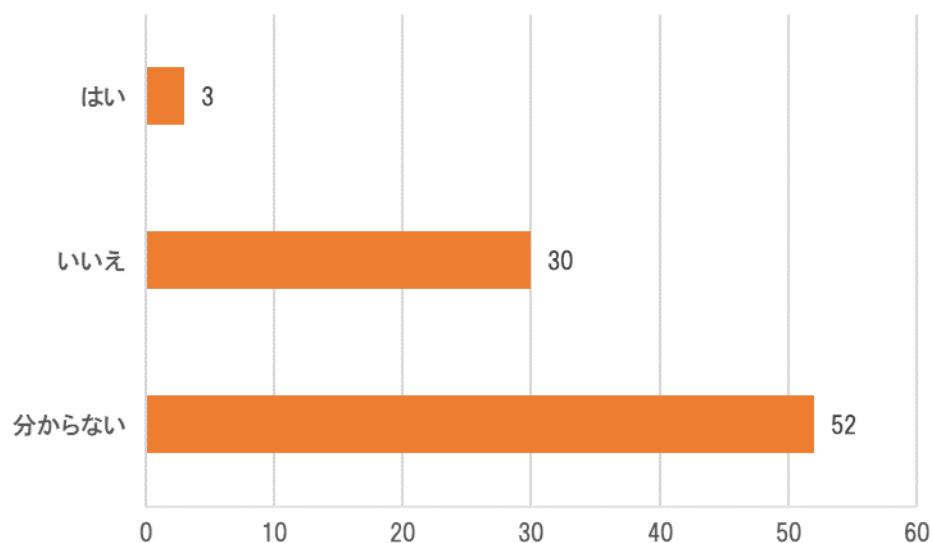


【その他】

- ・ 現在、e-Learning を受講中

質問 20 受講する前と受講した後に業務内容の変更予定はありますか

※質問 19 で「受講する」と答えた方



質問 21 変更予定の業務内容を教えてください

※質問 20 で「はい」と答えた方

- ・ 造影検査時のルート確保 (2)
- ・ 核医学検査の薬剤投与

質問 22 業務拡大・タスクシフト/シェアに対して期待していることを教えてください

- ・ 放射線技師の地位・認知度の向上 (7)
- ・ 放射線技師の需要・人員の増加 (10)
- ・ 給料の増額 (6)

- ・ 研修内容に沿った業務内容になることを期待
- ・ 検査の効率化の向上 (5)
- ・ 放射線技師の診療報酬算定と業務区分の定数化を期待 (2)

- ・ 業務内容の変化の認知
- ・ 技師の出来る事が増える事で幅が広がり技師の利点が増える
- ・ 仕事が明確化され、やりがいがある
- ・ チーム医療の拡大を期待
- ・ 業務量の均等化/分配ができ、チーム医療の質向上を期待しています。できる事が増えるのは非常に良いことだと思います。静脈路確保等は造影検査に限らず急変時の対応などでも実施できれば技師の役割も増えるのではと感じます。
- ・ 更なる業務の拡大を期待
- ・ 読影と検査選択の自由、幅広い静脈路確保、カテーテル操作、超音波の体内検査腔や血管・内検査ができるようになってほしい。
- ・ 技師読影
- ・ 医療への更なる貢献とレベルアップ
- ・ 静脈確保の教育を技師会独自にできないか？(必ずしも看護部が教育体制を持っているとは限らない)
- ・ 技師の意識の変化
- ・ 必要を感じない

質問 23 業務拡大・タスクシフト/シェアに対して不安に感じていることや問題点を教えてください

- ・ 業務に対しての技師の責任について (11)
- ・ 静脈路確保・穿刺への不安 (25)
- ・ 人員の確保や看護師の撤退・仕事量の増加 (9)
- ・ 医療安全の確保・医療事故への不安 (4)
- ・ 業務量の増加による検査の質の低下
- ・ 業務の拡大による現状以上の業務量悪化
- ・ 慣れない医療行為を行うことによるインシデント(重篤なもの)への適切な対応への不安
- ・ 侵襲的技術の習得・熟練・技術不足に起因するトラブル対応など
- ・ 静脈路確保等を実施していくために院内の規定や運用規程作成、他職種との業務すみわけが必要
- ・ 検査に集中できる環境であってほしい
- ・ 複数名での業務遂行

- ・ 未受講者(技師会に加入していない人に多い)と可能な業務に差ができること
- ・ 受講している・いないの差別化が出来ない事
- ・ 職場の他の技師が受講するかどうか、受講に対しての温度差があることと非会員への案内

- ・ どれだけ今回の業務拡大は現場で実施されるのでしょうか？本当に必要でしょうか？現場の意見と一致していないように感じているため、講習に意味を感じていない
- ・ 実務で行わないことまで、義務として研修を受けないといけなくなるのは迷惑である 必要とする人のみが受講する認定資格で十分である
- ・ 医師、看護師がどのように考えているか、施設によってかわってくると思うが、それがプラスになるか先が見えない
- ・ 中途半端な義務拡大で診療放射線技師の活躍場がなくなることへの懸念。それにより、告示研修の参加者が増えない理由になる可能性が出てくる
- ・ 検診事業所など業務拡大に直接関係ない職場もあるので、全員が必ず同じ項目の研修を受けるのではなく個人の選択にする

- ・ 侵襲的な危険を伴う業務が増えたため患者急変や緊急時の対応についても今後セミナー等でフォローしていただきたい
- ・ 画像などの講習会は頻繁に行われるが、今回の研修の様な実技や基本事項の研修は行われないのではないかと思います。針刺しなどの安全研修は定期的に行うのがよいと思います
- ・ 人員確保や実運用に移行する際のトレーニング
- ・ 職場での教育訓練の計画がないので、拡大した業務をやるとなると不安が強い
- ・ 施設毎の指導方法や評価、実践までにどうこぎ着けるか
- ・ 全員が出来るようになるのに時間がかかる
- ・ 実際に行う場合の訓練が自施設でどこまでできるのか。仕事は増えても給料に反映されるのか
- ・ ローテーション時の教育および医療過誤への対応
- ・ 院内での教育体制がない

- ・ 技師会主催になっているため技師会に入会していない技師には不便さを感じる。病院、健診業務関係なく技師としては必須であるため研修を受講できる措置が必要なのではないでしょうか？

質問 24 その他ご意見等ありましたらご自由にご記入ください

- ・ 業務拡大に伴う統一講習会を受講したい
- ・ 技師会の会員であろうがなかろうがすべての放射線技師に対して平等に講習の機会を与えるべきであり、会員と非会員とで参加費に差をつけるのは、社会に対する公益の責務を果たしていると思えない
- ・ 注腸やRIなど、必要な施設と備えていない施設で実技クラスを分けてほしかった。RI検査がない施設勤務の技師にとっては苦痛な実技であった
- ・ 告示研修の実施の連絡を密にしていきたい
- ・ 告示研修を受けられる対象者が日本放射線技師会員であること
- ・ 実技研修はビデオによる研修をやめ、実技研修に時間を増やしビデオ研修は実技研修前と後に配信あるいはネット研修を必須とすれば予習復習が出来、充実した研修になるのではないかと思います
- ・ 高齢化すると手先の感覚が衰えるのと老眼が起こり、受講はしにくいです！
- ・ 手技について定期的に復習する場面が欲しい
- ・ 退職間際の人にも受けて欲しい
- ・ 個人病院クラスの施設ではグレーゾーンで以前からやっていた事を、きちんとした形で業務として行えることはメリットと考えたいが、施設側、また特に看護師にきちんと業務拡大が伝わっているのか、また施設サイドがどのように受け止めているかわからないので、こちらから率先して業務を行なってよいかわからず、今後の動向に期待したいです
- ・ 各職場の業務量に応じた業務拡大を希望しますが、職場内で変な圧力がかからないか気になります
- ・ 実質的には看護師業務の技師への拡大であるが、技師の負担増による業務量の拡大で超過勤務がこれ以上増えると、年間360時間以上の超過勤務についてはサービスせざるを得ない
- ・ まずはマイルストーンを定めて、やってみる事だと思います
- ・ 業務拡大に関して、診療報酬上の加算、定数が診療放射線技師に付くのを望みます。医療事故が起きないように願っています
- ・ 読影の補助やパニック画像の発信などが業務として認知される様に期待する
- ・ 診療放射線技師にしかできない業務をどんどん増やしてほしい
- ・ 診療放射線技師の未来のために、エックス線撮影を他の職種に渡してはならない。絶対に死守してもらいたいです
- ・ 次なる業務拡大の候補について
- ・ 医療従事者として、コンセンサスを得て業務拡大ができることは、大変喜ばしい。大いに促進されるべきと思います

アンケートにご協力してくださった 164 名の皆さま
ありがとうございました。